

## 取扱説明書

### ■ バッフルブース

BB-10H BB-15H BB-20H

BB-25H BB-30H BB-35H

BB-40H BB-45H

BBL, BBH, BBD, BBR形オプション仕様を含む

この塗装ブースはスプレー塗装のための局所排気装置としてご使用ください。  
塗料以外のマグネシウム粉やアルミニウム粉など爆燃性粉塵の集塵装置には  
使用できません。

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取り  
扱い方法について記載しています。

ご使用前に、かならずお読みになり、十分理解してからご使用ください。

本書はすぐ確認できる場所に大切に保管してください。

※ ご使用になる前に、かならず表の空欄に必要事項をご記入ください。  
修理・サービスの際必要となり、お客様のお役に立ちます。

形 式	
製 造 番 号	
購 入 先	
購入年月日	年 月 日
使用開始日	年 月 日

## 重要なお知らせ

このたびは、弊社のバッフルブースをお買い上げ頂きましてありがとうございます。

- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用してください。
- 取扱説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂きますと、ブースの能力を十分に発揮できないばかりか、『火災・人身事故・塗装不良』等につながりますので、正しくご使用してください。
- お買い上げの製品や取扱説明書の内容についてご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売店または、弊社支店・営業所にお問い合わせしてください。
- 取扱説明書および警告ラベル等は大切に ご使用してください。万一、紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管または、貼り付けしてください。

- ・ この取扱説明書では、「警告」「注意」について、次のような定義と警告表示を使用しています。
- ・ 警告表示は安全作業のための重要な事項です。
- ・ 人身事故や財物損害事故のための重要な事項が記載されていますので、必ず正しくご使用ください。



**警 告**

警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が生ずることが想定されることを示します。



**注 意**

警告内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、又は物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

+

### ■ 絵文字の例

	この記号は『してはいけないこと』を意味します。 この記号の中や近くに具体的な禁止内容を表示します。 (左図の例は火気禁止)
	この記号は『注意すべきこと』を意味しています。 この記号の中や近くに具体的な注意内容を表示します。 (左図の例は感電注意)
	この記号は『しなければならないこと』を意味しています。 (左図の例は取扱説明書を読む) この記号の中や近くに、具体的な指示内容を表示します。 (む)

\* 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、弊社では、責任を負いかねますのでご了承ください。

### ■ 補足表示について




<b>重 要</b>	この記号は、装置の性能や機能を十分に発揮していただくために、守っていただきたい内容を示しています。
------------	---

## 残留リスク

ブース管理者・使用者による保護方策が必要な残留リスクマップ(略称:残留リスクマップ)

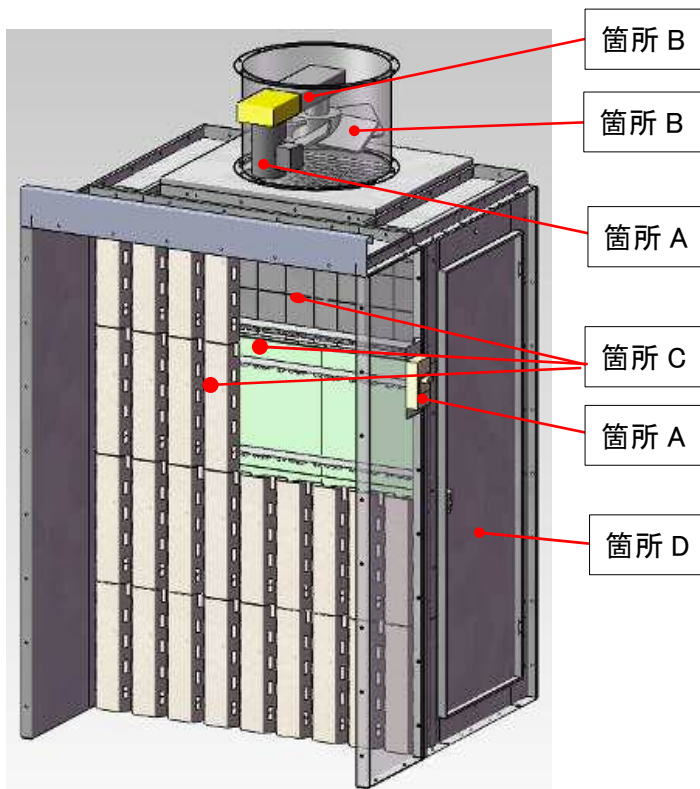
製品名:バツフルブース

残留リスクは、以下の定義に従って分類し記載しています。

 <b>危険</b>	保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 <b>警告</b>	保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容
 <b>注意</b>	保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

図中に示されている番号は、本製品の「残留リスク一覧」に記載されている、当該箇所に関連する残留リスクの番号です。各々の残留リスクの詳細については、「残留リスク一覧」を参照してください。

## 残留リスクマップ



箇所A	危険	
	警告	N0.1
	注意	N0.6
箇所B	危険	
	警告	N0.2
	注意	N0.6
箇所C	危険	
	警告	N0.3,4,5,7
	注意	N0.6
箇所D	危険	
	警告	N0.7
	注意	N0.6

## 残留リスク一覧

No.	作業	作業に必要な資格・教育	機械上の箇所	危害の程度	危険の内容	機械ユーザーが実施する保護方策	マニュアル参照ページ
1	点検	保守・操作の教育を受けている人	A	警告	電源を切らずに点検を行うと感電する危険がある	必ず電源を OFF にし、点検中であることを掲示する	P1、P9、P19
2	点検	保守・操作の教育を受けている人	B	警告	ブース運転中(ファン回転中)に点検を行うと羽根やベルトに巻き込まれてけがをする危険がある 点検中に落下する可能性がある	必ず電源を OFF にし、点検中であることを掲示する 目視で回転の停止を確認する ヘルメット・安全帯を着用する	P1、P9、P17
3	点検	保守・操作の教育を受けている人	C	警告	V 型バッフル板、2次フィルタの交換時に人体に帯電した静電気などによってスパークして火災が発生する危険性がある。	静電靴の着用 塗装機器や装置、被塗物、塗料・溶剤容器等にアース接続 樹脂製の棒などで帯電するような行為をしないこと	P1、P7、P13
4	ブース運転中	操作の教育を受けている人	C	警告	マグネシウム粉やアルミニウム粉など爆発性粉塵は静電気・衝撃・摩擦などにより容易に着火、爆発事故を起こす可能性がある	塗装ブースでは使用しない	P2
5	ブース運転中	操作の教育を受けている人	C	注意	ブースのフード部外で塗装した場合有機溶剤が散布される	フード内で塗装する 作業者はフードの外で塗装する	P2、P6
6	点検	保守・操作の教育を受けている人	A~D	注意	点検中、部品の破損や異音などの異常を確認したにもかかわらず、そのまま使用しない 火災や爆発する可能性がある	塗装ブースを運転せず販売店または弊社支店・営業所へ連絡して修理する	P6
7	掃除	保守・操作の教育を受けている人	C,D	警告	使用済みの V 型バッフル板、2次フィルタ、塗料カスを山積にすると、自然発火して火災となる可能性がある	直ちに水没させる 産業廃棄物として処理	P2、P8、P13

## 塗装ブースに関連する法規制について

- 塗装ブースの設置・使用開始に際し、安全や公害防止上、様々な法規が存在しております。  
各法規には、次のような設置の届出や適切な処置・定期的な自主検査等が求められています。

法 規	内 容	問い合わせ先	届出先	届出期限
労働安全衛生法	計画の届出 ※① ・建設物、機械等設置・移転・変更届 (様式第 20 号) ・局所排気装置摘要書(様式第 25 号) 作業主任者の選任 ・有機溶剤作業主任者の選任 ・特定化学物質作業主任者を選任 ※② 定期自主検査 作業環境測定 ・各有機溶剤の作業環境測定・評価・ 記録保存(3年間) ・エチルベンゼン等の作業環境測定・評価・ 記録保存(30年間) ※②	労働基準監督署	同 左	工事開始日の 30 日前
大気汚染防止法	計画の届出 ※③ ・揮発性有機化合物排出施設設置届出書 (様式第 2 の 2)	所轄行政機関 環境局	同 左	工事開始日の 60 日前
悪臭防止法	排出ガス濃度規制 ※④	都道府県庁等	—	—
騒音規制法	計画の届出 ※⑤ ・特定施設設置届出書(様式第 1)	所轄行政機関 環境局	同 左	工事開始日の 30 日前
消防法	計画の届出 管理責任者・監督者の選任 ※⑥ ・[参考]少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱 (開始・変更・廃止)届出書 ・[参考]危険物保安監督者(届出も必要)	所轄消防署  所轄消防署	同 左	設置前まで ※⑦  設置完成検査 申請時
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	スラッジ・ブース水等産業廃棄物の処置	所轄行政機関 環境局	—	—

- ※①: 届出内容は“計画の届出”のみで、“作業主任者の選任”、“定期自主検査”の届出は不要です。  
 ※②: 塗料やシンナーにエチルベンゼンなどの特定化学物質が 1%を超えて含まれる場合とキシレンなどの有機溶剤と合計して 5%を超えて含まれる場合が対象となります。  
 作業環境測定以外にも対応項目がありますので、対象外項目と合わせて労働基準監督署へご確認ください。  
 ※③: 排気風量が 100,000 m<sup>3</sup>/h(1,667 m<sup>3</sup>/min)を超えた場合、届出が必要です。  
 また、その際の揮発性有機化合物(VOC)の排出量が規制されています。  
 なお、弊社製塗装ブースの排気風量は対象風量の数分の一と規制値より少なく、届出の対象外です。  
 (工場内で複数の塗装ブースを設置しても問題ありません。)  
 ※④: 地方自治体によっては、敷地境界線での濃度規制がある地域があります。詳細は各都道府県庁などにて確認してください。  
 ※⑤: 送風機の原動力が 7.5kW 以上の製品が届出の対象となります。  
 ※⑥: 危険物の取扱量及び貯蔵量により届出・管理責任者、監督者の内容・対象が異なります。  
 詳細は、最寄りの所轄消防署にご確認ください。  
 ※⑦: 届出期限は、所轄消防署に確認してください。

上表の法規以外に、各地方自治体で独自に制定した条例(例:大阪府生活環境の保全等に関する条例)もありますので、詳細は所轄行政機関にて確認してください。



# 目 次

---

1.使用目的	1
2.警告・注意事項	1
2.1警告・注意事項	1
2.2警告ラベルの貼付位置及び内容	3
2.3その他の主な重要事項	4
3.塗料ミストの捕集原理	4
4.各部の名称と機能	5
5.始業点検	6
6.運転・停止	6
6.1運転	7
6.2停止	7
6.3スイッチについて	8
6.4標準換気量と外気への開放口の目安	8
7.終業点検・操作	9
8.定期点検・検査	10
8.1定期点検	10
8.2法定検査	12
9.異常・故障とその処置	13
10.掃除について	14
10.1 V型バツフル板の交換	15
10.2 2次フィルタの交換	17
10.3 ファン羽根車の掃除	18
11.製品仕様	19
12.オプション機種について	20
12.1BBL 形／LED 照明取り付け仕様(BBL-15H～45H)	20
12.2BBH 形／高天井仕様(BBH-15H～45H)	21
12.3BBD 形／安全増防爆仕様(BBD-15H～45H)	22
12.4BBR 形／後部排気仕様(BBR-10H～45H)	24
13.全機種共通オプション	25
13.1マノメータセット	25
14.消耗品リスト	26
15.保証と修理サービスについて	27
15.1保証について	27
15.2修理サービスについて	28

# 1.使用目的

この塗装ブースは有機溶剤中毒予防規則に則った、囲い式フード型塗装ブースです。  
スプレー塗装のための局所排気装置としてご使用ください。




## 2.警告・注意事項

### 2.1 警告・注意事項






下記の事項を怠りますと、人身事故および火災、塗装の不良やブースの寿命・故障等につながる恐れがありますので、必ずよく理解したうえで正しく使用してください。

 <b>警 告</b>	
	<p><b>ブース内やその周辺では火気，電気機器(防爆機器を除く)の使用禁止</b></p> <p>溶剤・塗料等に引火して火災や爆発の危険性がありますので、火気(喫煙等)や普通仕様の電気機器は使用しないでください。</p>
	<p><b>塗装機器や装置，被塗物，塗料・溶剤容器等にアースの接続</b></p> <p>静電気のスパークによる爆発や火災の危険性がありますので、人を含むすべてに対し、静電除去を行ってください。</p>
	<p><b>建屋側電源が ON の状態での電気系統の点検禁止</b></p> <p>感電の恐れや、ファンが急に回りだして、けがをすることがありますので、必ず電源を OFF にしてください。</p>
	<p><b>運転中および電源が ON の状態でのファン内部の点検禁止</b></p> <p>回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだしたりしてけがをすることがありますので、必ず電源を OFF にしてください。</p>
	<p><b>静電靴不着用でV型バツフル板，2次フィルタの交換作業禁止</b></p> <p>人体に帯電した静電気によってスパークして火災が発生する危険性がありますので、必ず静電靴(静電気帯電防止靴)を着用してください。</p>
	<p><b>V型バツフル板，2次フィルタを樹脂製の棒などで叩いたり，こすったりして，帯電するような行為禁止</b></p> <p>静電気が発生して、スパークにより火災が発生する危険性がありますので、叩いたり、こすったりして、帯電するような行為はしないでください。</p>



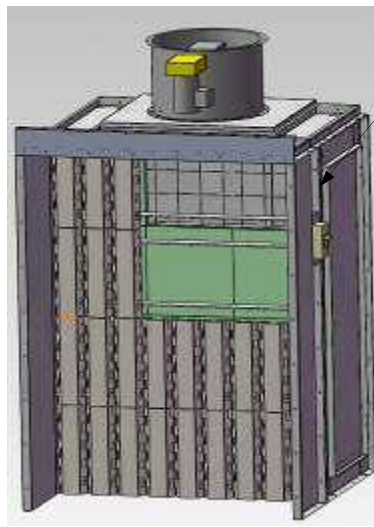
	<p><b>塗料以外の爆燃性のある粉塵の使用禁止</b></p> <p>マグネシウム粉やアルミニウム粉など爆燃性粉塵は、静電気・衝撃・摩擦などにより容易に着火、爆発事故を起こします。</p>
	<p><b>使用済みのV型バッフル板, 2次フィルタ, 塗料カスの山積み禁止</b></p> <p>自然発火して火災となる危険性があります。直ちに水没させて、産業廃棄物として処理してください。</p>
	<p><b>取扱説明書をよく読み, 理解した上で使用すること</b></p> <p>誤操作により思わぬ事故につながったり, ブースの寿命を縮めたりすることがあります。</p>

**⚠ 注 意**

	<p><b>フードの外での塗装禁止</b></p> <p>有機溶剤中毒予防規則違反となるばかりでなく, 有機溶剤ガス等が飛散し, 有機溶剤中毒や塗装不良の原因となる恐れがあります。必ずフード内で塗装してください。</p>
	<p><b>換気が不十分な状態での塗装禁止</b></p> <p>吸い込み不良となって, 有機溶剤ガス等が飛散し, 有機溶剤中毒や塗装不良の原因となる恐れがあります。十分な外気が入るように開放口を必ず設けてください。</p>
	<p><b>マスク不着用でV型バッフル板, 2次フィルタの交換禁止</b></p> <p>粉塵(塗料カス)を吸い込み健康を損ねる危険性がありますので, 必ずマスクを着用してください。</p>
	<p><b>V型バッフル板, 2次フィルタを取り外したままでの使用禁止</b></p> <p>多量の塗料ミストがダクトより屋外に排出され公害問題やファンの羽根車に付着して振動やベアリング破損の原因になります。</p>
	<p><b>改造禁止</b></p> <p>著しく性能が低下し溶剤ガスが飛散したり, 塗料ミストがダクトから異常に飛散したりすることがありますので, 改造しないでください。</p>

## 2.2 警告ラベルの貼付位置及び内容

### 貼付位置



警告ラベル

▲ 警 告		
<p>ブース内やその周辺では火気、電気機器（防爆機器を除く）の使用禁止</p> <p>溶剤・塗料等に引火して火災や爆発の危険性がありますので、火気（喫煙等）や普通仕様の電気機器は使用しないでください。</p>	<p>建屋側電源がONの状態での電気系統の点検禁止</p> <p>感電したり、急に回りだして、けがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。</p>	<p>運転中および電源がONの状態でのファン内部の点検禁止</p> <p>回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだしたりしてけがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。</p>
<p>静電靴（静電気帯電防止靴）不着用でV型パッフル板、2次フィルターの交換作業禁止</p> <p>人体に帯電した静電気によってスパークして火災が発生する危険性がありますので、必ず静電靴を着用してください。</p>	<p>V型パッフル板・2次フィルターを樹脂製の棒などでたたいたり、こすったりする帯電行為禁止</p> <p>静電気のスパークにより火災発生の危険性がありますので、たたいたり、こすったりして帯電するような行為はしないでください。</p>	<p>使用済みV型パッフル板、2次フィルターや塗料カスの山積み禁止</p> <p>自然発火して火災となる危険性があります。直ちに水没させて、産業廃棄物として処理してください。</p>
		<p>ここに示す警告事項は、塗装ブースの取扱い方法を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。</p> <p>警告ラベルは大切にしてください。万一はがれたり、汚損された場合はお買い上げの販売店または当社支店・営業所から購入の上、正しく貼り付けてください。</p>
<p>取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること</p> <p>誤操作により思わぬ事故につながったり、ブースの寿命を縮めたりすることがあります。</p>	<p>塗装機器や装置、被塗物、塗料・溶剤容器等にアースの接続</p> <p>静電気のスパークによる爆発や火災の危険性がありますので、人を含むすべてに対し静電除去を行ってください。</p>	

00805342

## 2.3 その他の主な重要事項

警告・注意事項のほかの重要事項は、下記のとおりです。

### (1) この塗装ブースの捕集効率は100%ではありません。

塗料の種類・粘度・吹付圧力・塗着効率等の諸条件によって、捕集効率は変動しますが、微細な粒子ほど捕集されにくく、ダクトから排出されて、煙のように見えることがあります。

### (2) フィルタの塗料ミスト捕捉量に比例して、吸込み風速は徐々に低下します。

塗料ミストの2次捕集用として、ガラス繊維フィルタを使用しています。フィルタは塗料ミストを捕捉しますので、その塗料ミストの付着量の増加とともに、圧力損失(フィルタの抵抗)も増大して、吸込み風速は低下します。塗料ミストがフードの外に吹き出してくるようになりましたら、V型バツフル板または2次フィルタの交換時期です。

### (3) この塗装ブースは溶剤ガスの対策はしていません。

排気中には溶剤ガスや若干の塗料ミストおよび臭気が含まれます。

排気が周囲に及ぼす影響を常にチェックしてください。必要に応じて、2次処理装置の設置や排気ダクトの高さ・位置・方向を検討してください。

### (4) ファン羽根車の掃除は中途半端にしないでください。

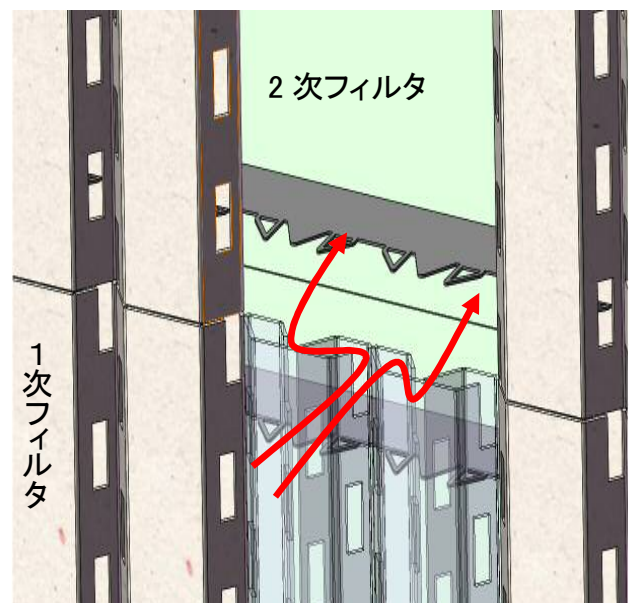
中途半端にすると、かえってバランスが崩れて、振動が大きくなりますので、付着した塗料スラッジはきれいに取除いてください。

### (5) この塗装ブースは粉体塗装に適していません。

この塗装ブースで粉体塗装を行いますと排気ダクトから粉体塗装の粉が多く排出されます。粉体塗装には、湿式塗装ブースか粉体塗装用のブースをお勧めいたします。

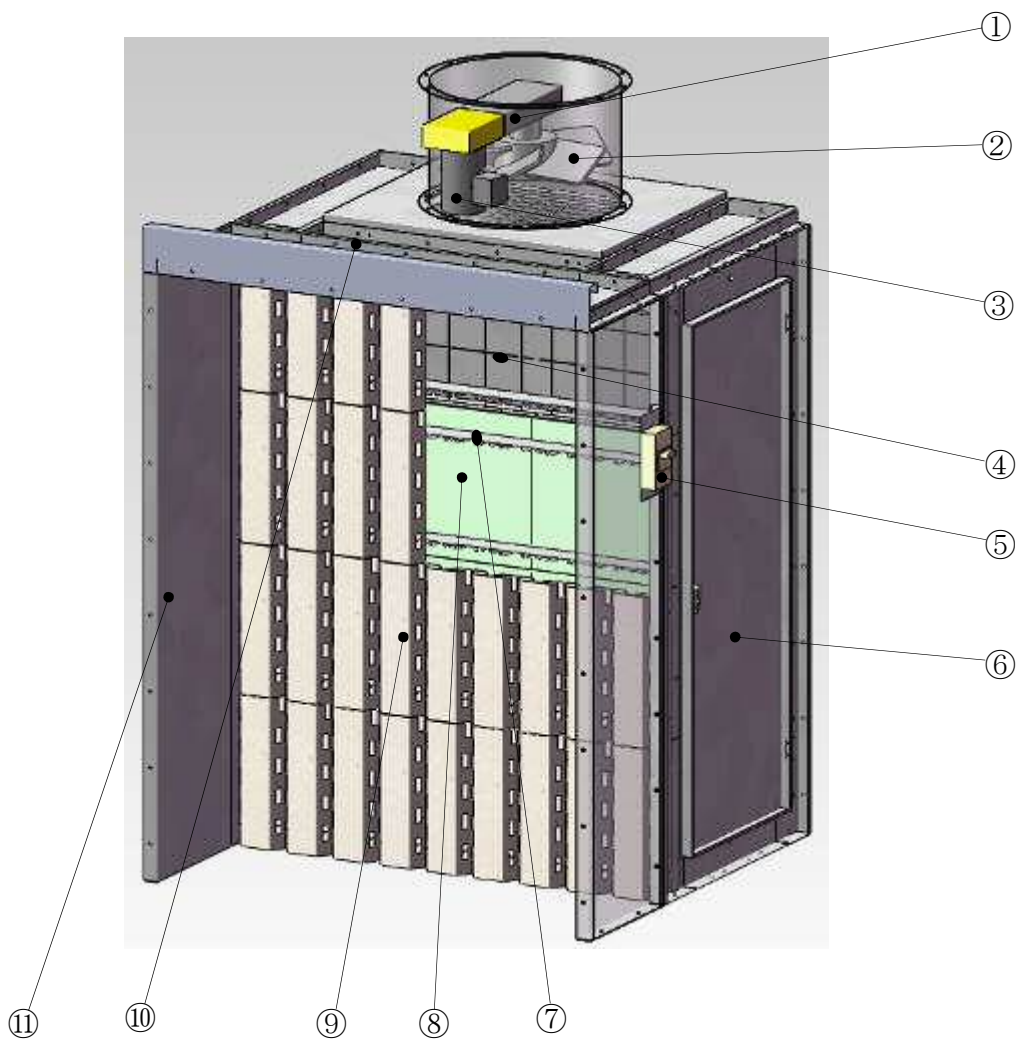
## 3. 塗料ミストの捕集原理

- ・ この塗装ブースの塗料ミストの基本的な捕集原理は、衝突板への衝突とフィルタでのろ過によるものです。排気ファンの吸引力によって、空気と共に吸込まれた塗料ミストは、V型バツフル板(1次フィルタ)を通過する間に衝突して、捕集されます。
- ・ V型バツフル板に衝突しなかった比較的小粒径のミストは、ガラス繊維フィルタ(2次フィルタ)を通過する間にろ過集じんされます。ガラス繊維フィルタでも捕集されなかった微細な塗料ミストはダクトを経て屋外に排出されます。
- ・ このブースは、固体または液体粒子に対して捕集効果がありますが、気化した有機溶剤に対しては捕集効果がありません。すなわち脱臭効果はありませんのでご注意ください。



注) 矢印は、風の流れを示します。

## 4.各部の名称と機能



No.	名称	機能
1	排気ファン	フード部に制御風速を与えるための軸流送風機(ベルト駆動)
2	羽根車(ランナー)	回転することによって空気に速度と圧力を与えるアルミ鋳物製プロペラ
3	モータ	排気ファンに回転動力を与えるための横形モータ
4	2次フィルタ押え	2次フィルタを保持するための金網
5	スイッチ	モータを ON/OFF するためのスイッチ(マグネットスイッチ)
6	点検扉	2次フィルタを交換, 掃除するためのもの
7	バッフル取付板	V型バッフル板を保持するための金具
8	2次フィルタ	塗料ミストを捕捉するための密度勾配付ガラス繊維フィルタ
9	V型バッフル板	衝突によって, 塗料ミストを捕捉するための, 植毛ダンボール紙製の衝突板
10	天井板	フードの天井を構成する鋼板製パネル
11	側板	フードの側面を構成する鋼板製パネル

オプション機種については, 12 項を参照してください。

## 5. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

### △ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合には、取扱説明書にしたがって点検し、修復できなかった場合には使用を禁止して、直ちに販売店または弊社支店・営業所にご連絡ください。  
そのままお使いになると、事故や本機の損傷につながる危険性があります。

### △ 注意

#### V型バツフル板や2次フィルタを取り外したままでの使用禁止

多量の塗料ミストがダクトより屋外に排出され公害問題やファンの羽根車に付着して、振動やベアリング破損の原因になります。

(1) フィルタの汚れ、目詰まりの確認

V型バツフル板、2次フィルタの汚れ、目詰まりを目視で確認し、ひどい場合は交換してください。

(2) 回転音の確認

ファンを運転して、回転音が通常と変わらないことを、聴覚で確認してください。

## 6. 運転・停止

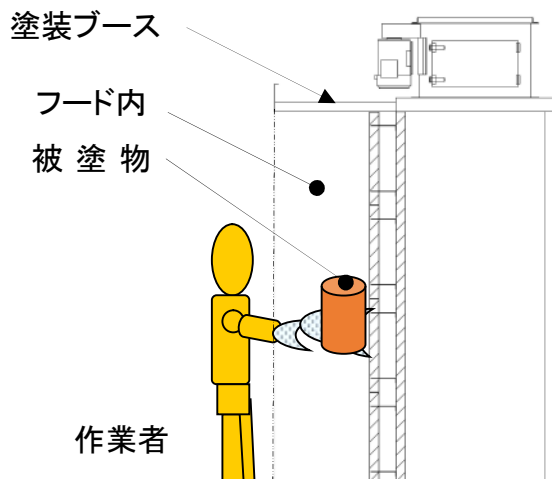
### △ 注意

#### フードの外での塗装禁止

有機溶剤中毒予防規則違反となるばかりでなく、有機溶剤ガス等が飛散し、有機溶剤中毒や塗装不良の原因となる恐れがあります。必ずフード内で塗装してください。

- ・ 被塗物をフード内に置いて、作業者がフード外から塗装することが、このブースが囲い式フード型ブースとして成立するための条件です。
- ・ 被塗物をブースの外に置いて塗装すると、有機溶剤中毒予防規則違反となるばかりでなく、有機溶剤ガス等がフードの外に飛散して、有機溶剤中毒や塗料ミストが塗面に付着して、塗装不良の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

囲い式フード型ブース  
成立条件



## △ 注意

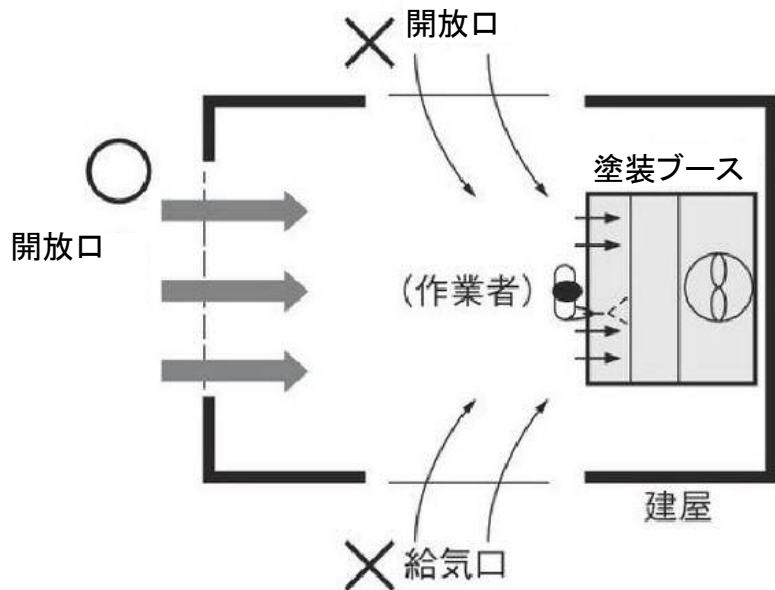
### 換気が不十分な状態での塗装禁止

吸い込み不良となって、有機溶剤ガス等が飛散し、有機溶剤中毒や塗装不良の原因になる恐れがあります。十分な外気が入るように開放口を必ず設けてください。

- ・ ブースを運転すると、大量の空気が屋外に排出されますので、それに見合った空気を屋外から取り入れる必要があります。密閉、あるいはそれに近い状態の室内で運転すると、空気が希薄となるために吸い込み不良となってしまいます。十分な外気が入るように開放口を必ず設けてください。

#### 開放口位置

作業者の背面に開放口を設け、スプレーに対して一直線な風方向にする。



## △ 警告

### 塗装機器や装置、被塗物、塗料・溶剤容器等にアースの接続

静電気のスパークによる爆発や火災の危険性がありますので、人を含むすべてに対し、静電除去を行ってください。

#### 6.1 運転

ブースの側面に取り付けられたスイッチで運転・停止を行ってください。

- (1) 建屋側電源／ON……………ブースへ給電している建屋側電源を ON にします



- (2) ブーススイッチ／ON……………ブースのスイッチを ON にします



- (3) 運転音／確認……………通常と変わらないことを聴覚で確認します

#### 6.2 停止

- (1) ブーススイッチ／OFF……………ブースのスイッチを OFF にします



- (2) 建屋側電源／OFF……………ブースへ給電している建屋側電源を OFF にします

## 6.3 スイッチについて

ファン駆動用モータの起動(黒色)・停止(赤色)のために使用します。 [LED 照明用も同様]

注) 起動ボタンは停止ボタンより固くなっております。 不良ではありません。

### (1)電流設定の方法

下図の定格電流目盛(RC 目盛)にて定格電流値の設定変更が可能です。

モータ銘板の各周波数の定格電流にダイヤルを正しく合わせてご使用ください。

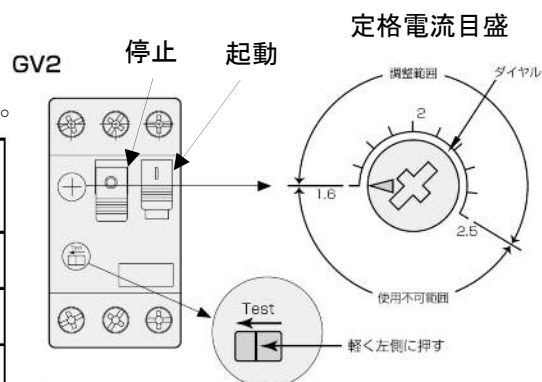
**⚠ 警告** 定格電流値以下での設定にしてください。  
 定格電流値より高く設定した場合、安全機構が働かずモータに負荷がかかります。  
 モータ損傷の危険性がありますので必ず定格電流値以下に設定してください。

### (2)テストトリップ操作

シーケンスチェックのための、テストトリップ操作ができます。

マグネットスイッチ正面のレバーを図のように押すとトリップします。

形式	BB-10H BB-15H	BB-20H BB-25H	BB-30H BB-35H	BB-40H BB-45H
出力	0.75kW	1.5kW	2.2kW	3.7kW
周波数	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz
モータ定格電流値	排気ファン用モータの銘板にて確認をお願いします。			



## 6.4 標準換気量と外気への開放口の目安

ブースを運転することによって換気される風量と、それに見合った外気を導入するために必要な、外気への開放口の面積の目安は次の表の通りです。

項目		形式							
		BB-10H	BB-15H	BB-20H	BB-25H	BB-30H	BB-35H	BB-40H	BB-45H
換気風量	m <sup>3</sup> /min	80	120	160	195	235	275	315	355
	m <sup>3</sup> /h	4800	7200	9600	11700	14100	16500	18900	21300
開放口	m <sup>2</sup>	1.4	2.0	2.8	3.3	4.0	4.7	5.5	6.1

## 7. 終業点検・操作

毎日、作業終了時に必ず終業点検・操作を行ってください。

- (1) V型バッフル板、2次フィルタの汚れや目詰まりがひどい場合には、次の作業に備えて新しいものと交換してください。

### ⚠ 警告

#### 使用済みのV型バッフル板、2次フィルタや塗料カスの山積み禁止

自然発火して火災となる危険性があります。直ちに水没させ、産業廃棄物として処理してください。

#### ■自然発火の危険性のある塗料について

油性塗料、酸化重合型塗料、フタル酸塗料などの塗料カスや塗料が付着したV型バッフル板、2次フィルタは堆積しておくことと反応熱によって、自然発火することがあります。直ちに水没させ、産業廃棄物として処理してください。なお、塗料についての詳細は塗料販売店または、塗料メーカーに必ずご確認のうえ正しくご使用ください。

《絶対に使用してはならない塗料》

- ・油性系塗料でボイル油、アマニ油等を溶剤としている塗料。
- ・酸化重合塗料。  
硬化剤、促進剤等を混合して使用する塗料。
- ・速乾性フタル酸塗料。  
乾燥促進のためにスチレンを混合してある塗料。
- ・その他、自然発火性の危険がある塗料。

- (2) ブース周辺の整理整頓

このブースは乾式ブースであり、水洗ブース等の湿式ブースに比べると、火災の危険性が大きいです。万一に備えて塗料カス、シンナー、塗料等はブースの周辺に放置せず、指定された(危険のない)場所に保管しておくか処理してください。

- (3) 終業時には必ず建屋側電源を OFF にしてください。

**重要** …使用しているファンは、モータ、ベルト、羽根車の位置関係上、モータに逆相の電源を供給することで正しい羽根車回転方向が得られるようになっております。お客様一次側電源が正相の場合は、逆相にした状態で(電源コード赤・白・黒の3本のうち2本を入れ替えて)ファンモータ端子に接続し、羽根車回転方向がファンの回転方向銘板と合っていることを確認のうえ、ご使用ください。  
逆回転のまま使用しますと、ブース本体内部からブース開口部へ風が逆流し、塗装面へのごみ、ほこりの付着など、塗装不良の原因となってしまいますので、ご注意ください。



## 8. 定期点検・検査

### 8.1 定期点検

安全に、しかも、安定した性能を維持してお使い頂くために、必ず定期点検を実施してください。

#### ⚠ 警告

#### 建屋側電源が ON の状態での電気系統の点検禁止

感電の恐れや、ファンが急に回りだして思わぬけがをすることがあります。必ず電源を OFF にしてください。

#### ⚠ 警告

#### 運転中および電源が ON の状態でのファンの内部点検禁止

回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだしてけがをすることがあります。必ず電源を OFF にしてください。

### ■ 点検一覧表

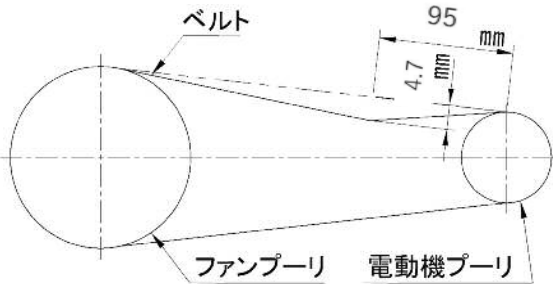
点検箇所	内 容	点検方法	点検期間	処 置	参照項目
V型バッフル板	汚れ, 目詰まり	目視	2 週間	交換する	10.1
2次フィルタ	目詰まり	目視	2 週間	交換する	10.2
排気ファン	異常音	聴覚	毎日	9 項の考えられる処置を実施し、改善しない場合は、お買い上げの販売店または弊社支店・営業所までご相談ください	9
	ベルトの緩み	※1	3 か月毎	張り増し又は交換する	8.1
	羽根車の汚れ	目視	6 か月毎	掃除する	10.3
本 体	フードの汚れ	目視	1 か月毎	掃除する	
	ボルトの緩み	スパナで回す	6 か月毎	締め増しする	
	点検扉のパッキン	目視	6 か月毎	交換する	
電装関係	配線端子の緩み	ドライバーで回す	6 か月毎	締め増しする	
	モータの汚れ	目視	6 か月毎	掃除する	
電気配線	端子の緩み	ドライバーで回す	1 年毎	締め増しする	

**重要** …点検期間は塗料の種類、使用量、塗装方法等によって異なりますので目安としてください。  
塗料ミストがフードから吹出してしまうようになったら、V型バッフル板または2次フィルタの使用限界ですので、交換してください。

※1 ベルトの適正な張り状態(羽根車を 10 分回転させた後)

①BB-10H・15H(ファン径  $\phi 600$ 、モータ動力 0.75kW)の場合

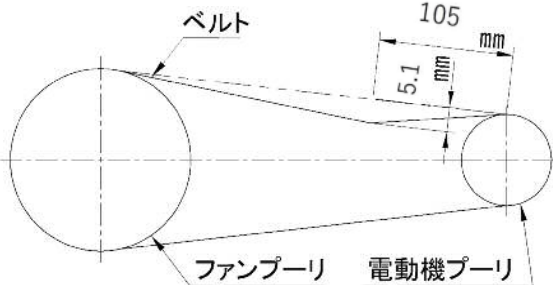
電動機プーリ中央から約 95mm でベルトを張力 T の力で押して 4.7mm のたわみが生じる状態が適正です。



張力  $T=10.4\sim 12.4\text{N/本}$  (50Hz 仕様)  
張力  $T=8.6\sim 10.3\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

②BB-20H・25H(ファン径  $\phi 600$ 、モータ動力 1.5kW)の場合

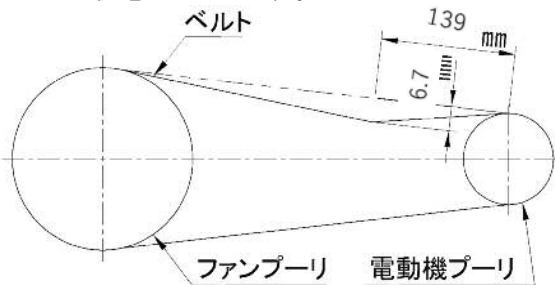
電動機プーリ中央から約 105mm でベルトを張力 T の力で押して 5.1mm のたわみが生じる状態が適正です。



張力  $T=14.8\sim 17.7\text{N/本}$  (50Hz 仕様)  
張力  $T=11.8\sim 14.1\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

③BB-30H・35H(ファン径  $\phi 800$ 、モータ動力 2.2kW)の場合

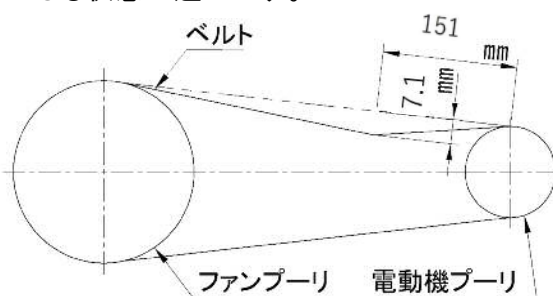
電動機プーリ中央から約 139mm でベルトを張力 T の力で押して 6.7mm のたわみが生じる状態が適正です。



張力  $T=12.7\sim 15.2\text{N/本}$  (50Hz 仕様)  
張力  $T=15.0\sim 17.9\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

④BB-40H・45H(ファン径  $\phi 800$ 、モータ動力 3.7kW)の場合

電動機プーリ中央から約 151mm でベルトを張力 T の力で押して 7.1mm のたわみが生じる状態が適正です。



張力  $T=15.4\sim 18.5\text{N/本}$  (50Hz 仕様)  
張力  $T=17.7\sim 21.3\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

各ベルトのサイズ・仕様詳細は、14項消耗品リストを参照ください。

## 8.2 法定検査

事業者は、局所排気装置(塗装ブース)について、1年以内ごとに1回、定期的に自主検査を実施するよう法令で義務付けられています。下記内容の記録後、3年間保存しなければなりません。

### (1) 有機溶剤中毒予防規則 第20条

局所排気装置について、次の項目について自主検査をしなければなりません。

- ① フード、ダクト及びファンの磨耗、腐食、くぼみその他損傷の有無およびその程度
- ② ダクト及び排風機における塗料の堆積状態
- ③ 排風機の注油状態
- ④ ダクトの接続部におけるゆるみの有無
- ⑤ 電動機とファンを連結するベルトの作動状態
- ⑥ 給気及び排気的能力
- ⑦ その他性能を保持するために必要な事項

### (2) 有機溶剤中毒予防規則 第21条

自主検査を行ったときは、次の事項を記録して、これを3年間保存しなければなりません。

- ① 検査年月日
- ② 検査方法
- ③ 検査箇所
- ④ 検査の結果
- ⑤ 検査を実施した者の名前
- ⑥ 検査の結果に基づいて補修等の措置を講じたときは、その内容

## 9.異常・故障とその処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。

異常が生じたときには、この取扱説明書をよくお読み頂き、次の表の点検をした上で、それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店または弊社支店・営業所までご相談ください。

現象	原因	処置	参照項目
1. ファンが廻らない	1. 建屋側電源が OFF になっている	建屋側電源を ON する	
	2. モーターが焼損している	モーターを交換する	
	3. スイッチが不良	スイッチを交換する	
	4. ベルトの破損	ベルトを交換する	8.1、14
2. 吸込が悪くなった	1. V型バッフル板の汚れ、目詰まり	V型バッフル板を交換する	10.1
	2. 2次フィルタの目詰まり	2次フィルタを交換する	10.2
3. 装置の振動が増大した	1. ファンの羽根車に塗料が付着	羽根車の掃除をする※1	10.3
	2. モーターのベアリングの不良	モーターまたはベアリングの交換	
4. ダクトからの塗料の飛散が増大した	1. 2次フィルタの取付不良	正規の状態に取り付ける	10.2
	2. 塗料、塗装条件を変更した	塗料・塗装条件の見直し※2	
5. ファンがオーバーロードする	1. 羽根車への塗料付着	羽根車の掃除をする	10.3
	2. モーターのベアリング不良	ベアリングまたはモーターの交換をする	
	3. ベルトの張りすぎ	適正にする	8.1、14
	4. スイッチの不良	スイッチを交換する	
	5. 電源容量の不足	容量をアップする	

### ※1 重要

- ① 中途半端に掃除すると、かえって羽根車のバランスの崩れが増して、振動が大きくなります。付着した塗料スラッジは、きれいに取り除いてください。  
また、掃除しても振動が変わらない場合は、羽根車自身のバランスが崩れていますので、交換をお勧めいたします。

### ※2 重要

- ① このブースの捕集効率は 100%ではありません。塗料の微粒子がダクトより排出されて、煙のように見えることがあります。
- ② 一般的に速乾性塗料、低粘度塗料、比重の小さい塗料、高い圧力でスプレーした場合等には、捕集効率が低下して、ダクトからの排出量が増大します。
- ③ 公害問題に発展した場合には、ダクトの位置の変更、高さの変更、向きの変更、2次処理装置の設置、高効率ブースへの変更等が必要となることがあります。お買い上げの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

注) モーター・スイッチの交換等の電気工事は、販売店・弊社支店・営業所または電気工事の有資格者に依頼してください。

また、ベアリング・ベルト等の交換も、販売店・弊社支店・営業所に依頼するのが好ましい内容です。

## 10.掃除について

- ・ 塗装ブースは局所排気装置の一種であると同時に、集じん装置の一種でもあります。掃除の頻度を増やして、出来るだけきれいに使用するよう心掛けてください。
- ・ ひどく汚してしまいますと、性能の低下を来すばかりでなく、汚れが加速されて、掃除する手間がかかりますのでご注意ください。

### ⚠ 警告

#### 静電靴不着用でV型バッフル板、2次フィルタの交換作業禁止

人体に帯電した静電気によってスパークして、火災が発生する危険性がありますので、必ず静電靴(静電気帯電防止 靴)を着用してください。

### ⚠ 警告

#### V型バッフル板、2次フィルタを樹脂製の棒などで叩いたり、こすったりして、帯電するような行為禁止

静電気が発生して、スパークにより火災が発生する危険性がありますので、叩いたり、こすったりして、帯電するような行為はしないでください。

### ⚠ 警告

#### 使用済みのV型バッフル板、2次フィルタや塗料カスの山積み禁止

自然発火して火災となる危険性があります。直ちに水没させ、産業廃棄物として処理してください。

#### ■自然発火の危険性のある塗料について

油性塗料、酸化重合型塗料、フタル酸塗料などの塗料カス、塗料が付着したV型バッフル板・2次フィルタは堆積しておくとし、反応熱によって自然発火することがあります。直ちに水没させ、産業廃棄物として処理してください。なお、塗料についての詳細は塗料販売店または、塗料メーカーに必ずご確認のうえ、正しくお使いください。

### ⚠ 注意

#### マスク不着用でV型バッフル板、2次フィルタの交換作業禁止

粉塵(塗料カス)を吸い込み健康を損ねる危険性があります。必ずマスクを着用してください。

### ⚠ 注意

#### V型バッフル板や2次フィルタを取り外したままでの使用禁止

多量の塗料ミストがダクトより屋外に排出され公害問題やファンの羽根車に付着して、振動やベアリング破損の原因になります。

## 10.1 V型バツフル板の交換

### (1) V型バツフル板 取出し

↓ V型バツフル板を手前に引いてバツフル取付板から外します。

### (2) V型バツフル板 取り付け準備

↓ 下記『◎V型バツフル板の折り方』を参考に必要枚数折っておきます。  
(都度、取り付け時に折っても問題ありません。)

### (3) V型バツフル板 取り付け

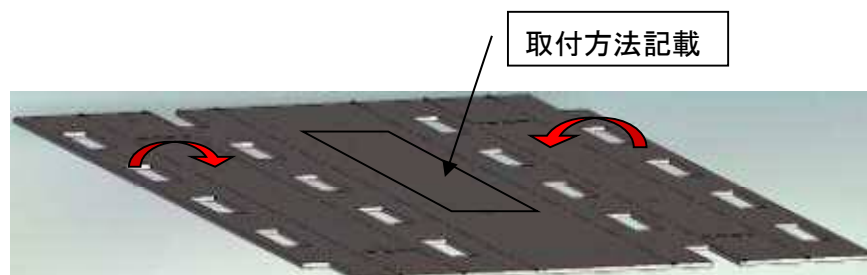
↓ V型バツフル板をバツフル取付板に取り付けます。(詳細は、次ページをご参照ください。)  
(上下左右計4か所の切込みをバツフル取付板の爪4か所に差込みます。)  
(爪の間の三角爪は位置合わせ用の為、ここには差し込まないでください。)  
(ブースの左端または右端から順次取り付けてください。)

### (4) V型バツフル板 処理

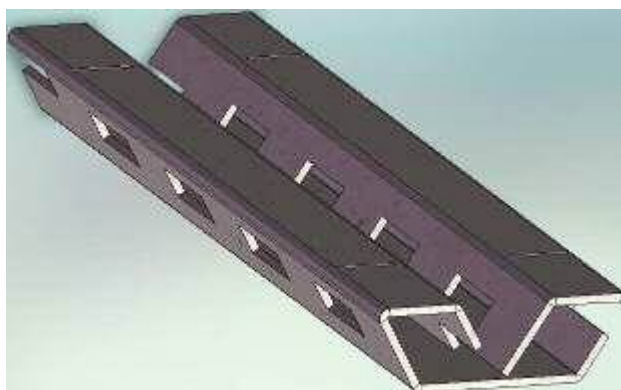
取り外したV型バツフル板を水没させて、産業廃棄物として処理します。

### ◎V型バツフル板の折り方

- ① V型バツフル板の取付方法が記載されている面が内側になるようにして、印刷されたミシン目に沿って折り曲げてください。

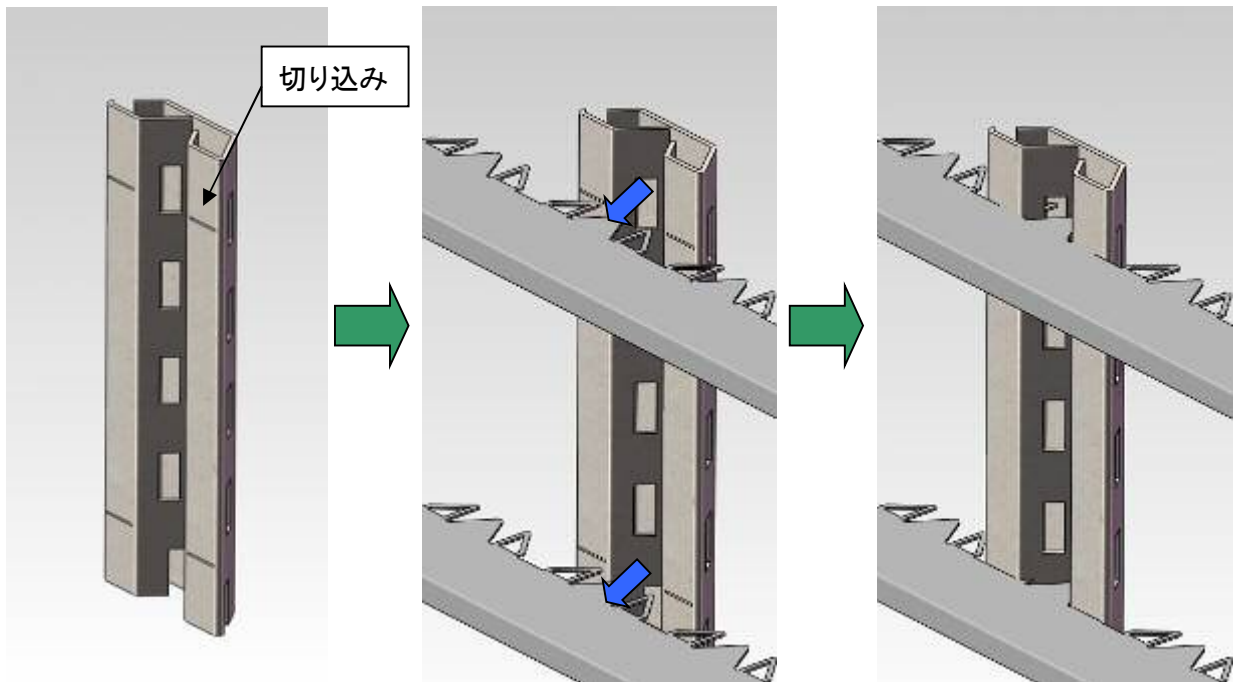


- ② 中央の四角穴が開いていない部分の内側中心に、V型バツフル板の両端部が来るように、折り曲げてください。

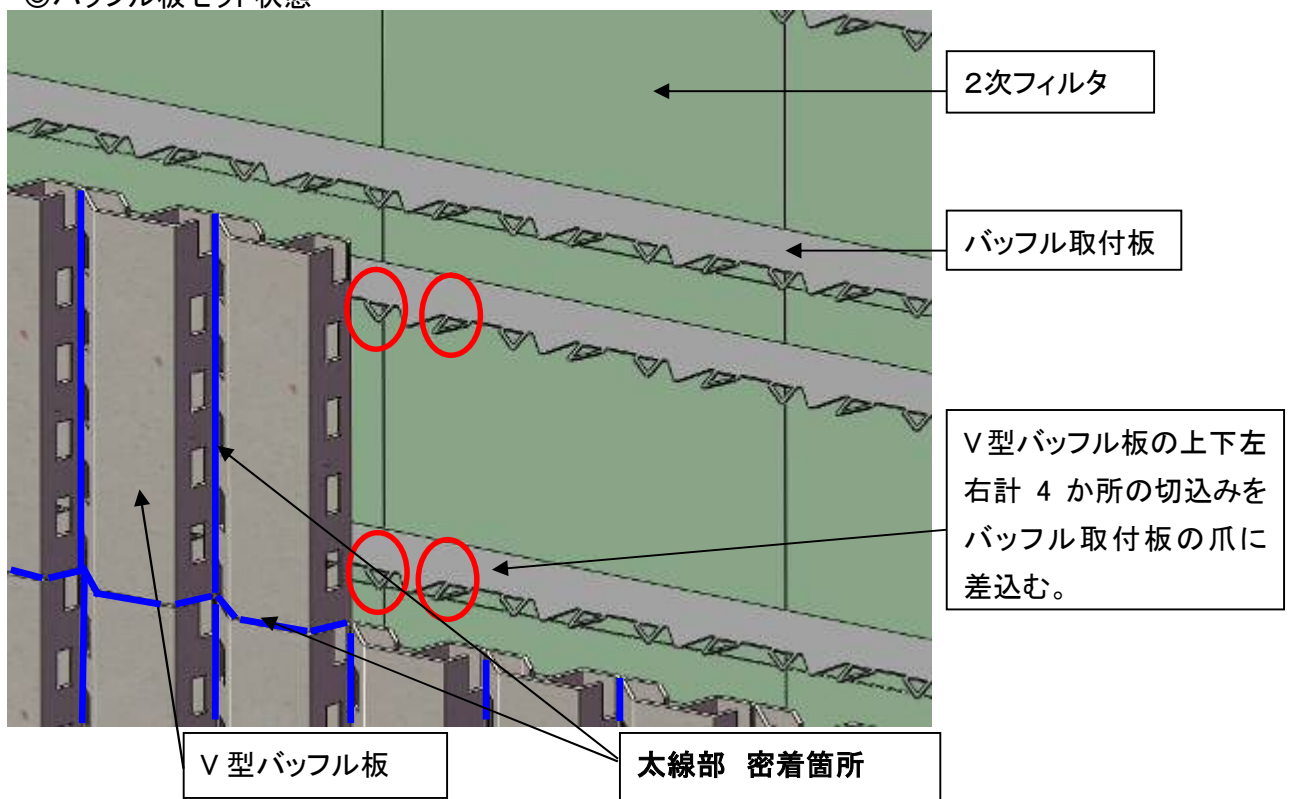


### ◎V型バツフル板の取付け方

V型バツフル板の上下左右の切込み4か所を、バツフル取付板の爪に差し込みます。V型バツフル板とバツフル取付板が密着するように、奥まで差し込みます。



### ◎バツフル板セット状態



**重要** …V型バツフル板同士が密着されていないと、隙間から塗料が通過して2次フィルタの汚れが早くなります。縦・横方向ともに隙間がなくなるようにできるだけバツフル板同士を密着させて取り付けてください。

## 10.2 2次フィルタの交換

2次フィルタの交換は、側面に取り付けられた点検扉から、ブース内部に入って行ってください。  
なお、ファンが回転すると危険なので、必ず電源をOFFにして行ってください。

### (1) 点検扉 開

↓ 側面の点検扉を開きます。

### (2) 2次フィルタ押え 取り外し

↓ 2次フィルタ押えを取り外します。

### (3) 2次フィルタ 交換

↓ 古い2次フィルタを取り外します。

↓ 新しい2次フィルタを取り付けます。

### (4) 2次フィルタ押え 取り付け

↓ 2次フィルタ押えを取り付けます。

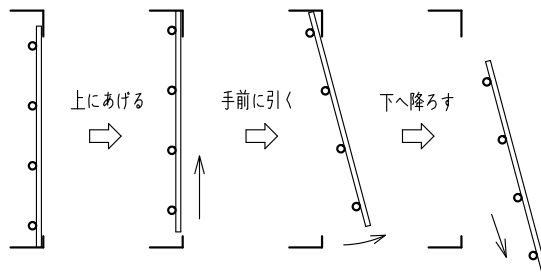
### (5) 点検扉 閉

↓ 側面の点検扉を閉めます。

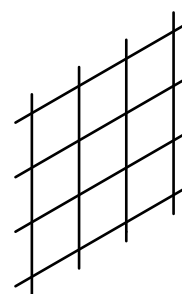
### (6) 2次フィルタ 処理

取り外した2次フィルタを水没して、産業廃棄物として処理  
します。

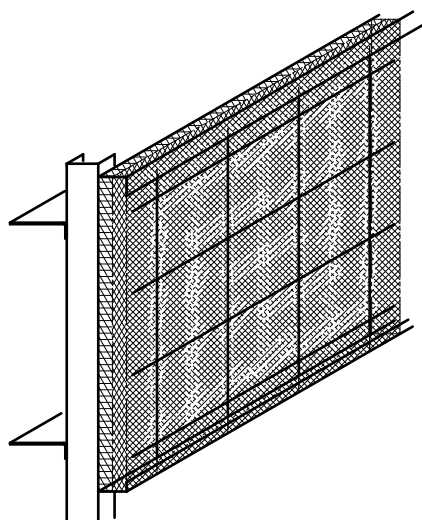
「2次フィルタ押え 取外し手順」



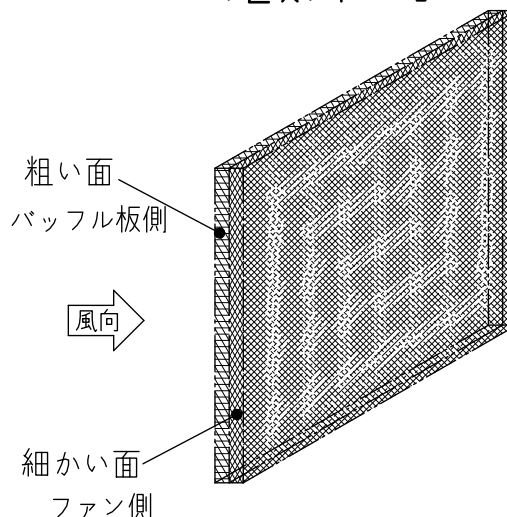
「2次フィルタ押え」



「2次フィルタ セット状態」



「2次フィルタ」



**重要** …2次フィルタには方向性があります。粗い面をバッフル板側に、細かい面をファン側にして取り付けてください。反対に取り付けると直ぐに目詰まりして、吸い込み不良の原因となりますので、ご注意ください。



### 10.3 ファン羽根車の掃除

フィルタで捕集されずに通過した塗料ミストの一部が、高速で回転している羽根車に付着して、振動やオーバロードの原因となりますので、定期的に掃除してください。

#### ⚠ 警告

#### 運転中および電源が ON の状態でファンの内部点検禁止

回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだしたりして、けがをすることがありますので、必ず電源を OFF にしてください。

#### 重要

#### 中途半端な羽根車の掃除禁止

中途半端に羽根の掃除をすると、かえって羽根車のバランスの崩れが増して、振動が大きくなります。付着した塗料スラッジはきれいに取り除いてください。

また、掃除しても振動が変わらない場合は、羽根車自身のバランスが崩れているので、交換をお勧めいたします。

- (1) ブーススイッチ OFF



- (2) 建屋側電源 OFF



- (3) ファン点検口 開

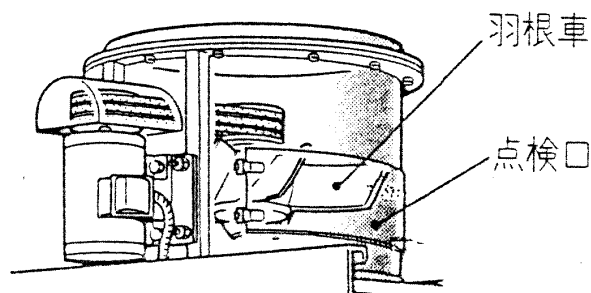
↓ パチン錠を外して点検扉を開けます。

- (4) 羽根車 掃除

↓ ヘラ等を使って付着した塗料スラッジをきれいに取り除きます

- (5) ファン点検口 閉

パチン錠を掛けて点検扉を確実に閉めます。



## 11. 製品仕様

項目		形式		BB-10H	BB-15H	BB-20H	BB-25H	BB-30H	BB-35H	BB-40H	BB-45H	
寸法 (mm)	開口間口	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500			
	開口高さ	2000										
	総奥行き	1500										
	排気口高さ	2475					2545					
本体質量 (kg)		282	306	340	364	502	528	593	619			
排风量 (m <sup>3</sup> /min) ※1		80	120	160	195	235	275	315	355			
平均風速 (m/s) ※1		0.65										
捕集 効率 (%) ※2	メラミン	96(参考値)										
	ラッカープライマ	92(参考値)										
	アクリルウレタン	88(参考値)										
騒音値 dB(A) ※3	前面 1.5m	80	76	82	79	84						
	側面 1.5m	74	69	75	71	75						
排気 ファン	タイプ	軸流ファン(Vベルト駆動)										
	サイズ (胴径)	φ600					φ800					
	コグ ベルト	50Hz	RPF3440		RPF3460		HDPF5560		HDPF5570			
		60Hz	PRF3430		RPF3450		HDPF5560		HDPF5570			
	本数	2本					3本					
	モータ形式	全閉外扇形 横形 200V 4P IE3										
出力 (kW)	0.75		1.5		2.2		3.7					
スイッチ (普通仕様)		マグネットスイッチ										
主要材質		ガルバリウム鋼板 塗装無し t1.6										
塗装色 (マンセル)		フィルタ押え : N-7.5(グレー)										
		排気ファン: N-7(グレー) 天井板補強 : 3.64PB4.74/4.86(パステルブルー)										
標準付属品		取扱説明書 各1部										
ブレーカ容量 (3相 200V)		20A		30A		40A		60A				
※1 排风量, 平均風速はフィルタの目詰まり具合やダクトの抵抗によって変動します。 ※2 測定方法は弊社の測定基準によるものです。塗料の性状, 塗装条件, 測定方法等によって変動します。 ※3 設置してある環境によって多少変動します。												

・オプション機種の追加については、12項を参照してください。

・安全増仕様排気ファンのベルト種類は変わりますので、詳細は14. 消耗品リストを参照してください。

## 12.オプション機種について

オプション機種をご使用される場合、下記仕様・取扱い・注意点等をご確認の上使用してください。

### 12.1 BBL 形／LED 照明取り付け仕様(BBL-15H～45H)

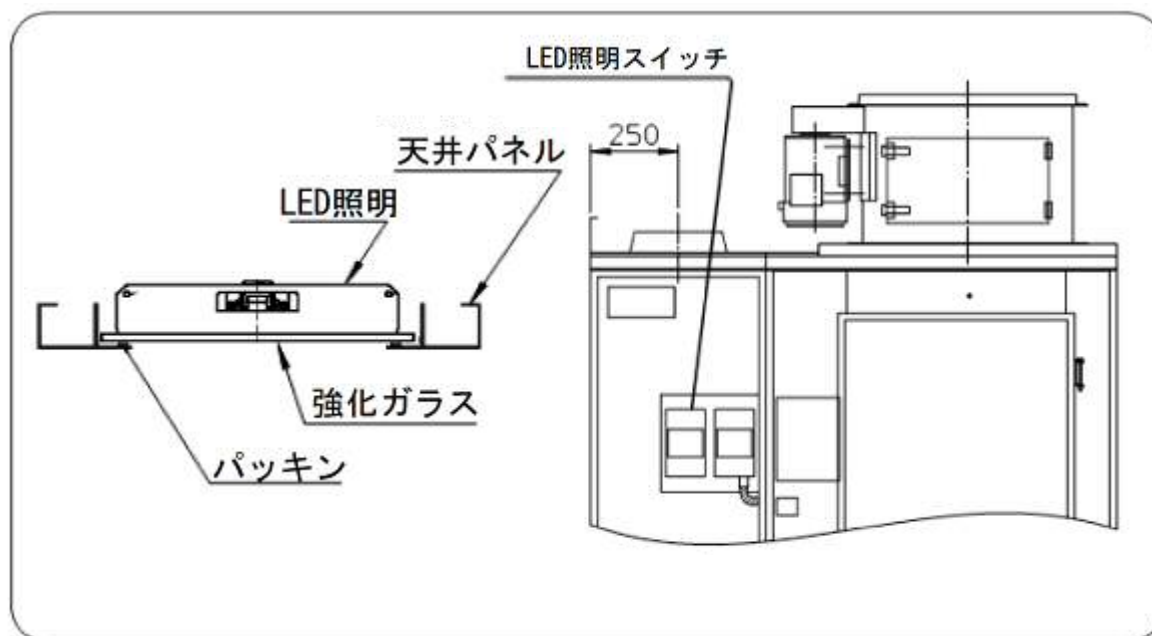
オプションとして、LED 照明をフード部の天井に取り付け、またスイッチを追加したものです。

■オプション仕様(基本仕様は11項の製品仕様と同じ)

項目		形式						
		BBL						
		15H	20H	25H	30H	35H	40H	45H
照明	仕様	埋込み形／AC200V／LED 照明						
		45W 1 灯入り						
	台数	1 台			2 台		3 台	
スイッチ(普通仕様)		マグネットスイッチ						
配線(普通仕様)		ビニールキャブタイヤケーブル						

注)スイッチの使用方法については、6.3 項を参照してください。

#### (1) LED 照明とスイッチの取り付け位置



#### (2) 点灯と消灯

スイッチを ON/OFF にて LED 照明が点灯/消灯します。

#### (3) 点検・LED ランプの交換

LED 照明本体を裏返しにしてから、LED ランプの交換を行ってください。

**⚠ 警告**

**建屋側電源が ON の状態での電気系統の点検禁止**

感電したり、急に回りだして、けがをすることがありますので、必ず電源を OFF にしてください。

#### (4) 異常・故障とその処置

現象	原因	処置
1. ちらつく 点滅する	1. ランプの寿命または不良	ランプを交換する
	2. 電源電圧の異常	電源電圧を確認し、適正電圧にする
	3. 周囲温度が高いまたは低い	周囲温度を適正温度にする (5~35℃)
	4. ランプの種類違い	ランプを交換する
2. 点灯しない	1. 建屋側電源が OFF になっている	建屋側電源を ON にする
	2. 安定器の不良	LED 照明器具本体を交換する ※
	3. 周囲温度が高いまたは低い	周囲温度を適正温度にする (5~35℃)
	4. ランプの種類違い	ランプを交換する
	5. スイッチの不良	スイッチを交換する

※印の処置で、安定器の交換は決して行わず、必ず器具本体を交換してください。

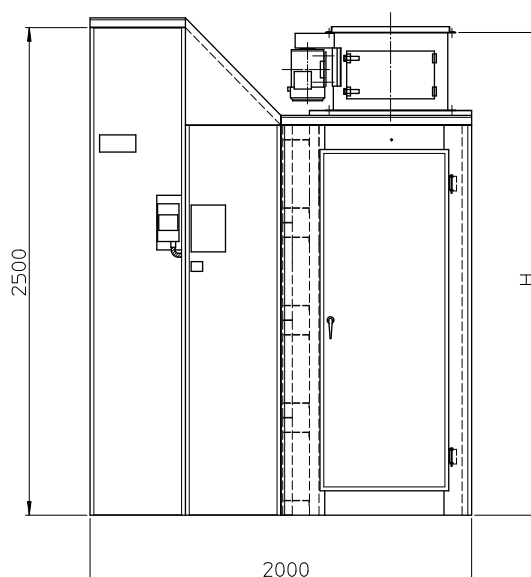
### 12.2 BBH 形／高天井仕様(BBH-15H~45H)

標準機種のフードの天井高さを 500mm 高くしたものです。

■オプション仕様(基本仕様は11項の製品仕様と同じ)

項目	形式	BBH					
		15H	20H	25H	30H	35H	40H
開口高さ	(mm)	2500					
総奥行き	(mm)	2000					
本体高さ	(mm)	2475			2545		
平均風速	(m/s)	0.52					

■外形(側面)形状



### 12.3 BBD 形／安全増防爆仕様(BBD-15H～45H)

標準機種に対して、電気機器を爆発性危険雰囲気(2 種危険場所)で使用可能な構成とするため、次のようなオプション仕様とした機種です。

- ① 安全増防爆形モータ
- ③ 耐圧防爆形スイッチ
- ② 安全増防爆形蛍光灯
- ④ 防水プリカチューブ配線

■オプション仕様(基本仕様は11項の製品仕様と同じ)

項目		形式					
		15H	20H	25H	30H	35H	40H
モータ	形式	安全増防爆形 横形 200V 4P IE1					
	出力(kW)	0.75	1.5	2.2	3.7		
蛍光灯	仕様	安全増防爆形／AC200V／Hf 形 45W 2 灯入／高周波点灯専用形蛍光ランプ(Hf 器具専用)					
	台数	1 台		2 台		3 台	
スイッチ	モータ用	耐圧防爆形マグネットスイッチ(押しボタン付き)					
	蛍光灯用	耐圧防爆形タンブラスイッチ					
配線		防水プリカ配線					

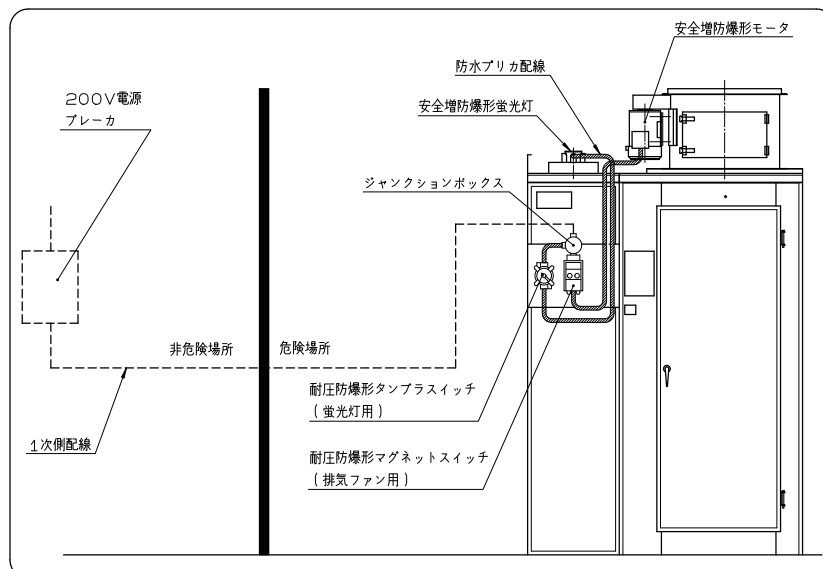
**警告** 全ての爆発性危険雰囲気で使用可能な構成にはなっていません。この塗装ブースの設置した雰囲気を確認するとともに、『工場電気設備防爆指針』(厚生労働省)を参照のうえ適切な状態で使用してください。

注1) 2 種危険場所とは…異常な状態において危険雰囲気を生成するおそれがある場所

- ・強制換気装置の故障により、爆発性ガスが停滞して危険雰囲気を生成するおそれがある場所
- ・1 種危険場所の周辺または隣接する室内で、爆発性ガスが危険な濃度でまれに侵入するおそれがある場所

注2) 下図の破線部分の配線は、お客様の施工となります。『工場電気設備防爆指針』を参照のうえ電気工事の有資格者に処理を依頼してください。

■ 設置状態



## (1) スイッチの種類

用途・機種によって2種類のスイッチを使用しております。

用途	スイッチの種類
ファン用モータの起動・停止	A. 耐圧防爆形マグネットスイッチ(押しボタン付き)
蛍光灯の ON/OFF	B. 耐圧防爆形タンブラスイッチ

### A. 耐圧防爆形押しボタンスイッチ(押しボタン付き)

耐圧防爆形の押しボタン付きマグネットスイッチで過負荷保護機能を内蔵しています。

ON/OFF の押しボタンを押して、ファン用モータの起動・停止を行います。

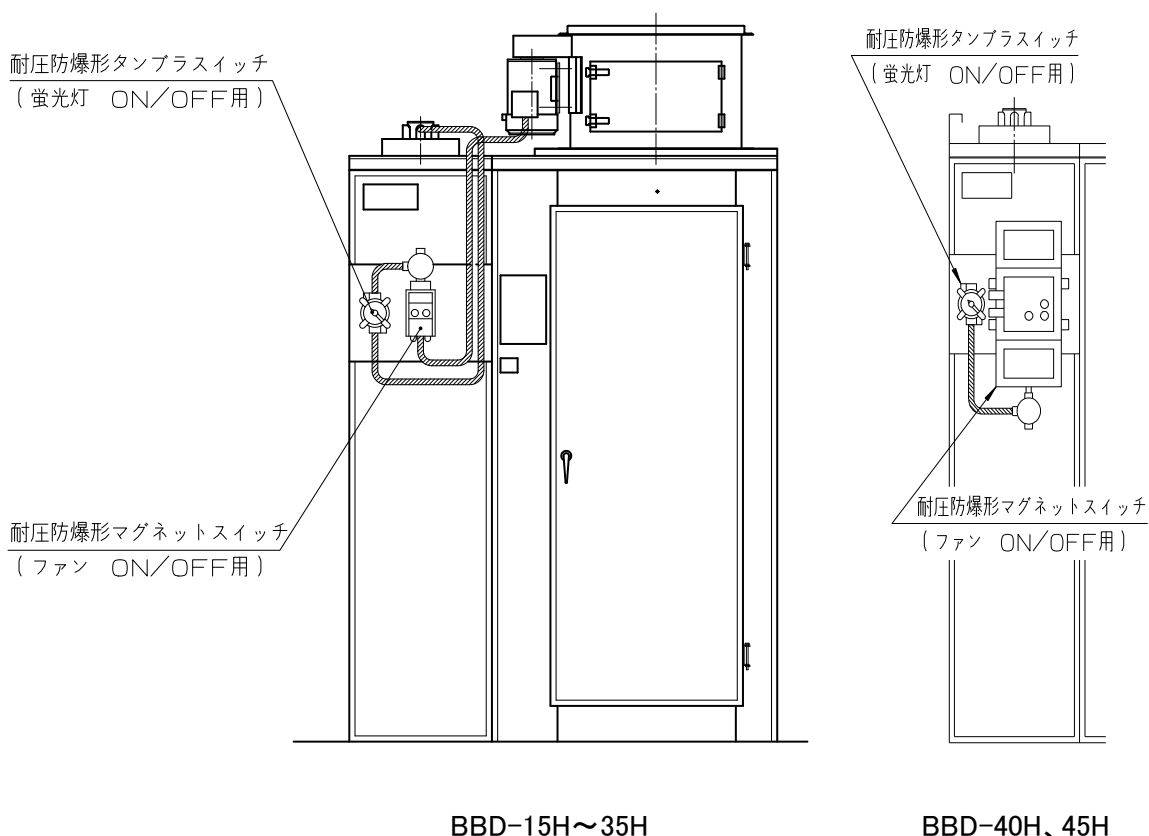
オーバロードすると、保護装置が働いてモータは自動停止します。リセットボタンを押すとリセット(復帰)します。この際、負荷の原因をよく調査し原因を取り除いてからリセットしてください。

### B. 耐圧防爆形タンブラスイッチ

蛍光灯を ON/OFF するためのスイッチです。

ハンドルを左右に回転させて、ON/OFF 操作を行います。

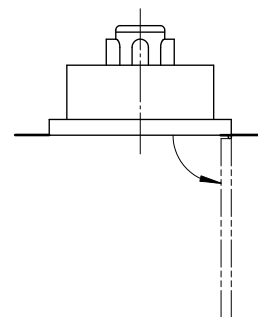
## (2) スイッチの取り付け状態・外観



### (3) 蛍光灯

安全増防爆形の蛍光灯を使用しております。

ランプの交換は、蛍光灯の下側から行います。ボルトをゆるめ、ふたを開けてから交換してください。交換後は、ふたのボルトをしっかりと締めてください。



#### ⚠ 警告

蛍光灯のふたを開けたままで、スイッチをONにしないでください。

爆発・火災の危険性があります。

### (4) 蛍光灯の異常・故障とその処置

蛍光灯の異常・故障とその処置については、21頁の異常・故障とその処置の項を参照してください。

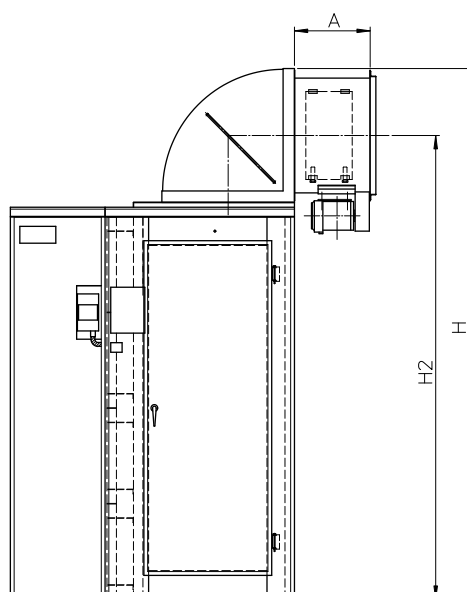
## 12.4 BBR 形／後部排気仕様(BBR-10H～45H)

標準機種天井に後部排気用 90° ベンドダクトを取り付け、排気を直接ブースの後部に抜くことを可能としたものです。

■オプション仕様(基本仕様は11項の製品仕様と同じ)

項目	形式	BBR							
		10H	15H	20H	25H	30H	35H	40H	45H
A :ファン長さ (mm)		400				470			
H <sub>2</sub> :ファン中心高さ (mm)		2425				2525			
H :本体高さ (mm)		2775				2975			

■外形(側面)形状



## 13.全機種共通オプション

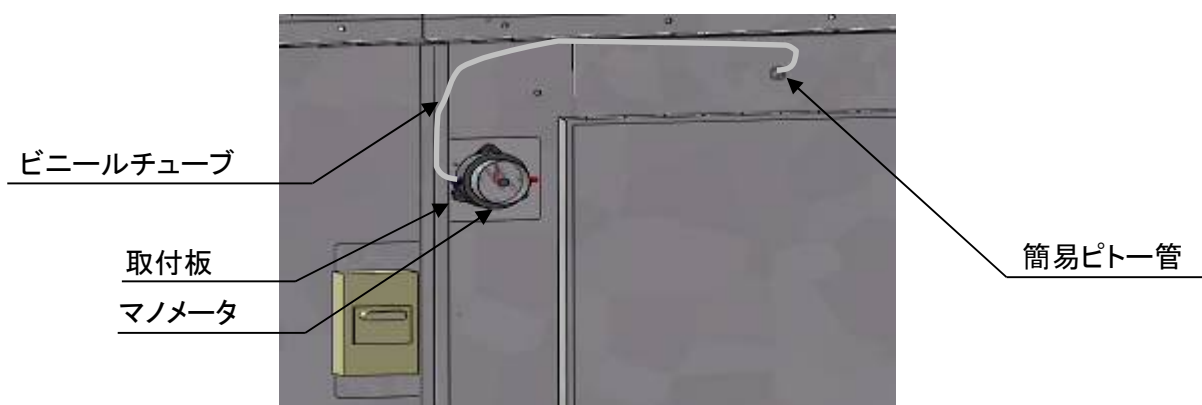
全機種に取付可能なオプションです。下記セット内容・取扱い・注意点等をご確認のうえ使用してください。

### 13.1 マノメータセット

ブース本体ファン直下部と大気圧との差圧を測るマノメータ(差圧計)を取付ける為のセットです。V型バツフル板, 2次フィルタの交換時期を数値管理される場合に便利です。

#### ■セット内容

品名	数量	備考
マノメータ	1	フルスケール 300Pa。置き針付き。(※1)
取付板	1	マノメータをブース本体に装着する為の取付板。
簡易ピトー管	1	ブース本体ファン直下部に挿入する直管。
ビニールチューブ	1 巻き	マノメータと簡易ピトー管をつなぐチューブ。内径 6mm。
取付ビス	1 式	マノメータを取付板に取付けるビス類。



※1 マノメータには針が 3 本あります。

- ・ 黒色の針:ブース本体ファン直下部と大気圧との差圧を表示します。(圧力確認用針)
- ・ 赤, 緑色の針:管理数値に置いておく置き針です。2 本の針を適正な圧力範囲の値に置いておくと, 黒色の針がその範囲を超えたときが, V 型バツフル板, 2次フィルタの掃除・交換時期と判り, 便利です。

#### ■掃除・交換時の圧力数値(参考)

項目 \ 形式	BB							
	10H	15H	20H	25H	30H	35H	40H	45H
圧力 (Pa) ※2	150	110	140	150	160	130	200	160

※ 2 この数値は、ブースの設置環境・排気ダクト状況等により変化いたします。

あくまでも、参考としていただき、実際にお客様にてブースをご使用していただき、塗装時の吸い込み状況により各フィルタの掃除・交換時圧力を設定してください。



## 14. 消耗品リスト

部品名 (コードNo.)	形式	BB- BBL- BBH- BBD- BBR-							備考	
		10H(※1)	15H	20H	25H	30H	35H	40H		45H
V型バツフル板 (00534060)		24枚	36枚	48枚	60枚	72枚	84枚	96枚	108枚	※2
2次フィルタ (00829530)		8枚	12枚	16枚	20枚	24枚	28枚	32枚	36枚	※3
コグベルト ※4	50Hz	RPF3440		RPF3460		HDPF5560		HDPF5570		BB,BBL,BBH, BBR形
	60Hz	RPF3430		RPF3450		HDPF5560		HDPF5570		
	本数	2本				3本				
省エネ レッドベルト ※4	50Hz	A44		A46 (07261746)		B56		B57		BBD形
	60Hz	A43		A45		B56		B57		
	本数	2本				3本				
LED照明 ※5		三菱電機製 MY-B470375/N AHTN							BBL形	
		-	1台			2台		3台		
Hf形ランプ ※6		三菱電機製 FHF32EX-N-HX							BBD形	
		-	3本			6本		9本		
<p>〈注記〉</p> <p>表中の個数はブース1台分を示します。</p> <p>※1 BBH-形、BBL-形、BBD-形に-10Hはありません。</p> <p>※2 V型バツフル板は100枚単位でご発注ください。 100枚単位のコードNo.90903130 品名 バツフル板セット(※2)</p> <p>※3 2次フィルタは20枚単位でご発注ください。 20枚単位のコードNo.90903052 品名 2次フィルタ(※3)</p> <p>※4 各ベルトはマッチドセットでご手配ください。(同じロット品のため長さが一定です)</p> <p>※5 LEDランプ形式は、三菱電機製 EL-LU47037 AHTN でございます。 LED照明は1灯入りです。</p> <p>※6 Hf形安増蛍光灯には、Hf形ランプを取り付けてください。</p>										

## 15.保証と修理サービスについて

### 15.1 保証について

#### 保証書(保証規定)

お買いあげの商品を本取扱説明書にしたがって正常のご使用状態で万一故障が起きましたときは、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

なお、保証の範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害の補償はいたしかねます。

形式		品名 <b>パッフルブース</b>	
お客さま	御社名		
	お名前		
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	TEL ( ) -	FAX ( ) -	
保証期間	お買いあげ日 年 月 日から <b>「1年間」</b> または <b>「2000時間」</b> の いずれか先に到達した期間を保証期間とします。		
販売店	販売店		
	住所	〒□□□-□□□□	
	TEL ( ) -	FAX ( ) -	

#### ◇ 無償修理を受けるための条件および手続き

- (1) 本保証書をご提示の上お買いあげの販売店または弊社支店・営業所にご依頼ください。
- (2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

#### ◇ 次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。

- (1) 本保証書のご提示がない場合
- (2) 本保証書にお名前、お買いあげ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合
- (3) 塗料以外の爆燃性のある粉塵(マグネシウム粉やアルミニウム粉など)を使用したことによる故障および損傷並びにそれに伴う一切の事故責任と賠償責任
- (4) 取り扱い上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷
- (5) 消耗品の交換・修理
- (6) 指定外の動力源(電圧, 周波数, 燃料他)又は天災・地変(火災, 地震, 水害, 塩害, 落雷, 公害など)による故障および損傷
- (7) ご契約時に弊社へ除外を指示され、お客様にて購入された部品に起因する不具合・事故が発生した場合
- (8) 純正部品以外の部品が使用されている場合
- (9) 弊社指定の修理店以外による修理がなされている場合

#### ◇ 法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等また、ご不明の点はお買いあげの販売店または弊社支店・営業所までお問い合わせください。

#### ◇ 保証書の保管

● 「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買いあげ日」、「販売店」など必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入していただき、納品書とともに大切に保管して下さるようお願いいたします。

● 本保証書は紛失されても再発行しませんので、大切に保管してください。

#### ◇ 輸出に関して

本製品には「外国為替及び外国貿易法」で定められた規制貨物に該当する製品・技術が含まれています。本製品(部品を含む)を輸出する際には、同法に基づく輸出許可等が必要です。

また、転売・譲渡等を行う場合は、事前に最終使用者及び最終用途をご確認の上、弊社営業担当までご連絡ください。

## 15.2 修理サービスについて

修理依頼をされるときには

● 修理はお買いあげの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

このときお買いあげの商品の形式名およびお買いあげの時期をお知らせください。

● 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、

お客さまのご要望により有料にて修理いたします。

詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

また その他ご不明な点は販売店または弊社支店・営業所へお気軽にお問い合わせください。

最新のお問い合わせ先につきましては、弊社ホームページ<http://www.anest-iwata.co.jp>


をご覧ください。

製品に関するお問い合わせ、ご意見・ご希望などございましたら、弊社お客様相談室までご連絡ください。


#### お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

・ スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

・ その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間： 9:00～12:00/13:00～17:00

但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

No.T811-04

コードNo.00866029